

秀吉の「冊封」と^{さつぷ}劄付

東京大学史料編纂所所蔵「前田玄以宛明国兵部劄付」は、1595年、明が秀吉を冊封した際、併せて秀吉麾下の者にも官職を授けた任命書のうちの1つです。現在、同様の内容・形式の文書として、上杉景勝宛劄付・毛利輝元宛劄付が知られています。

この共同研究では、これら3通の紙質調査を含む原本調査を行いました。そこで、その成果について報告する研究会を開き、秀吉の「冊封」の実態を考えてみたいと思います。

みなさまのご来場をお待ち申し上げます。

日時：2016年12月14日（水）15:00～17:30

会場：東京大学史料編纂所大会議室（福武ホール地下1階）

プログラム：

趣旨説明 小島浩之（東京大学大学院経済学研究科、研究代表者）

報告① 高島晶彦（東京大学史料編纂所）

「劄付料紙の自然科学的手法による検討」

報告② 須田牧子（東京大学史料編纂所）

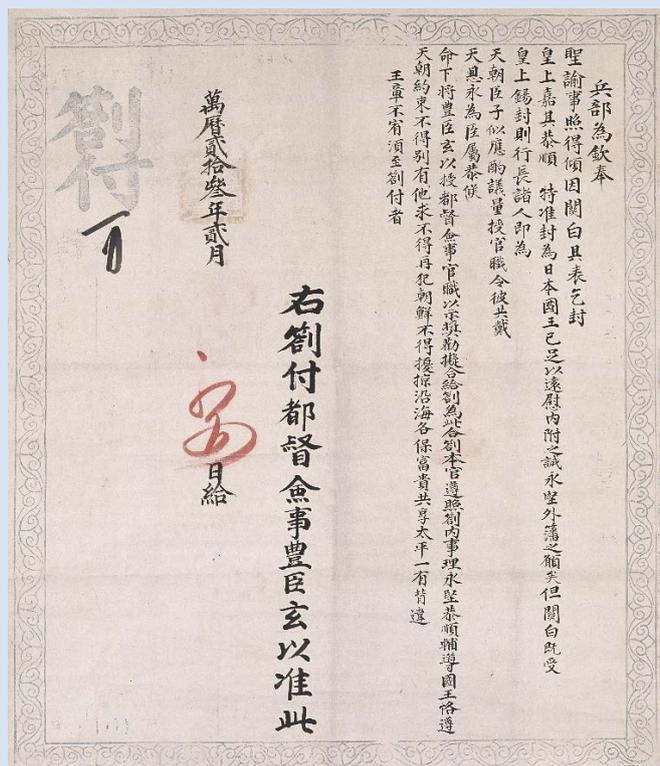
「原本調査から見る豊臣秀吉の冊封と陪臣への授職」

報告③ 大野晃嗣（東北大学大学院文学研究科）

「上杉景勝宛明国劄付」に関する一考察」

討 論

* 事前申込不要、参加費無料



前田玄以宛明国兵部劄付
(史料編纂所所蔵、貴大-3)



妙興寺蔵豊臣秀吉画像模写
(史料編纂所所蔵、模写-以-29)

主催：「東京大学史料編纂所所蔵東アジア関係
古文書資料の調査・研究」プロジェクト